

デューク大学のアメフトチームが、タブレットを AirWatch で管理し、得点につなげる

カスタマープロフィール

デューク大学はノースカロライナ州ダーラムにある私立研究大学で、アメリカの大学ランキングでは常に上位に入っています。創立当初から学術分野でアメリカ国内の最上級校として高い評価を受け続けると同時に、スポーツ競技でも数々の賞を得てきました。デューク大学の体育会連合はアトランティック コースト カンファレンスのメンバーで、全米大学体育協会(NCAA)のディヴィジョン I に属する 26 の大学スポーツチームを持ち、中でもアメリカンフットボールチームはブルーデビルズと呼ばれています。

ブルーデビルズは ACC チャンピオンシップ ゲームで 7 回の優勝経験があり、10 人の ACC プレイヤー オブ ザ イヤーを輩出、そしてプロフットボール殿堂入りした 3 人の選手を輩出しています。ACC での 7 勝、サザン カンファレンスでの 9 勝、そしてビッグ 5 カンファレンスでの 1 勝を合わせると、カンファレンス チャンピオンシップでの勝利回数は合計で 18 回に上ります。

2014 年のシーズンに向けて、ブルーデビルズの選手とコーチは新しい学習ツールを手元に置くようになりました。軽量で、携帯もしやすい iPad です。そして、常に最先端を歩んできたアメリカンフットボールチームとして、これまでの伝統的なプレーブックを廃してデジタル化に最も早く踏み切ったチームの一つとなりました。

課題

ブルーデビルズのテクノロジー責任者であるトム ロング氏は、アメリカンフットボールのテクノロジー カンファレンスに参加することによって、モバイルデバイスがどれほどデューク大学スポーツチームの力となるかに気づき、Global Aptitude 社の提供するデジタル化プレーブックのアプリケーション、GamePlan を知りました。ロング氏はブルーデビルズのヘッドコーチであるデイヴィッド カットクリフともこの情報を共有し、カットクリフは、デジタル化しようというロング氏の提案に賛同、125 台の iPad を購入して、プレイヤーとコーチ、そしてスタッフに配付することとなりました。

「プレーブックをデジタル化する前は、定期的に更新しなければならない紙の書類が大量に綴じられた重くて扱いにくいバインダーと DVD の山に頼るしかありませんでした。コーチが情報や新しいプレー動画を選手たちと共有したい場合は、急にオフィスに集合がかけられることが頻繁にありました」とロング氏はこれまでのやり方について説明しました。新たなモバイルデバイスとテクノロジーを手にするにより、チームこれまでより良い状態で準備が出来るようになりましたが、次にロング氏は、投資を無駄にしないためには選手が自宅にしようと外出しようとして簡単に管理できる、用意なデバイス管理方法が必要だと気が付きました。

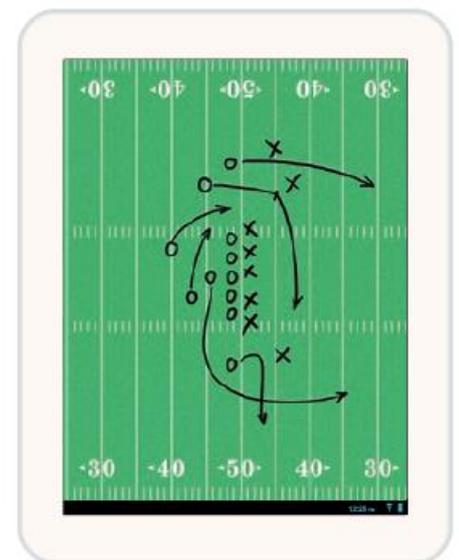
ソリューション

ロング氏はモバイルデバイス管理ソリューションについて検討を開始し、Global Aptitude 社が推薦する AirWatch[®] by VMware[®]を選択しました。「AirWatch のカスタマーサービスと営業チームの対応には、初日から満足しました。AirWatch のおかげ



事例概要

- ・カスタマー名: デューク大学
アメリカンフットボールチーム
- ・業種: 教育
- ・導入地域: 北アメリカ
- ・導入ソリューション: MDM、MAM、MEM
- ・デバイス数: 100 - 500台



で、私達は iPad の管理を楽に行うことができるようになり、その分もっと大きな目的に集中することができるようになったのです。つまり、試合に勝利することです。」とロング氏は話しました。

選手は各自、ロング氏が iPad 用プレーブックアプリを事前設定し、AirWatch 管理下にある iPad を支給されます。このプレーブックではデューク大学のプレーブック以外にも、練習スケジュールやトレーナーからの医療情報も参照できます。「AirWatch[®] Mobile Application Management を使えば、たった数分で複数のデバイスへのプレーブックアプリのインストールが済むのです。」とロング氏はいいます。「デバイスをひとつひとつ私が設定する必要はありません。その時間を、他の仕事に使えるようになったのです。」選手やコーチは、電子メールや連絡先、カレンダーなどの情報にアクセスすることが可能で、概略図のハイライトやトレーニングメニューや相手チームの資料映像などのビデオコンテンツをダウンロードすることも出来ます。

コンテンツをデジタル化して共有したことによって、チームはこれまで使っていた紙の量を大きく減らすことが出来ました。「これまでコピー代に消えていた莫大な出費を節約することが出来るようになり、コスト面で非常に有益でした。紙の資料をデジタル化することによって、多くの予算と時間を削減できるようになったのです。」とロング氏はいいます。「今や、コーチが選手に新しい動画や資料を見せたいと思ったら、ボタンひとつで送ることができます。これまでは、資料を紙に印刷して、三穴リングバインダーの内容を差し替えなければなりませんでした。必要な時にいつでも情報を送受信出来るようになったことで、来シーズンに向けての準備が強化できました。選手たちは受け取った情報を実際に見ています。」

プレーブックをタブレットに収録したことで、セキュリティも向上することが出来ました。AirWatch に管理された iPad は、これまでの紙のプレーブックより格段に安全です。ひとつひとつのデバイスがパスコードを必要とする上、プレーブックアプリにログインするにも別のユーザー名とパスワードが求められるからです。誤ったパスワードが 3 回入力されると、ロング氏が状態をリセットするまで、iPad はロックされます。「これまでは、もし選手がプレーブックをなくしたり置き忘れていたりすれば、この機密情報は誰でも見ることができました。AirWatch を使えば、もし iPad が盗難や紛失に遭った時も、私がいつでもどこでも iPad のコンテンツを消去することができるようになったのです。これは本当に私を安心させてくれました。」とロング氏は語っています。

「AirWatch のカスタマーサービスと営業チームの対応には、初日から満足しました。AirWatch のおかげで、私達は iPad の管理を楽に行うことができるようになり、その分もっと大きな目的に集中することができるようになったのです。つまり、試合に勝利することです。」

デューク大学
アメリカンフットボールチーム
テクノロジー責任者
トム ロング

